

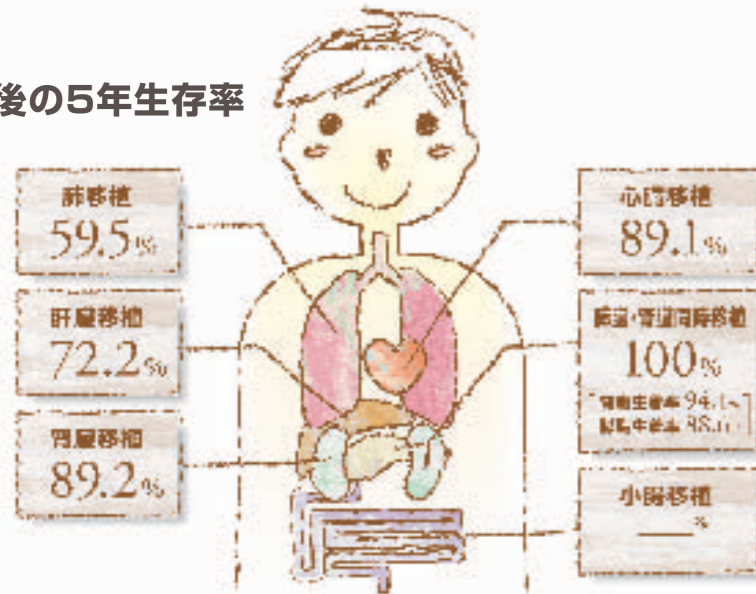
## One Point Data

ワンポイント・データ

### 臓器移植の成績

日本では、死後の臓器提供が少なく、移植を待ちながら亡くなる方が多いのが現状です。しかしながら、国内の移植の成績は他国に比べても高い水準にあり、臓器の提供をいただくことができれば、余命数ヶ月、数十ヶ月の方が健康を回復し、社会復帰や旅行、スポーツができるようになります。

### 移植後の5年生存率



注) 心臓、肺、肝臓、膵臓同時移植は、2006年3月末までに実施されたもの。腎臓移植は、2005年12月末までに実施されたもの。(※小腸は1例実施のみでデータ掲出せず)

注) 生着率は、移植した腎臓(膵臓)の機能が廃絶しても透析などに戻って生存されている方の割合です。

### 「もし、移植を受けていなかったら、私は今ここにいないでしょう。」

移植を受けた方の言葉です。余命の宣告を受けるほど重症の臓器不全の方が、移植によって健康を取り戻し、家族と共に過ごし、社会復帰や学校に行くことができるようになったことを心より感謝しています。あなたの意思で助かる命があります。家族と話し合って臓器提供の意思を表示してください。

詳しくは、<http://www.jotnw.or.jp/datafile/offer.html>

## 携帯やパソコンから 臓器提供の意思を 登録しましょう!

(社)日本臓器移植ネットワークのホームページで、臓器提供に関する意思を登録できるようになりました。パソコン、携帯電話からの登録が可能で、IDの入った登録カードが発行され、本登録が完了すると、臓器提供の際に本人意思を確認する対象となります。



確実な提供意思の確認のために  
是非、登録を!

ホームページ

<http://www.jotnw.or.jp>

モバイルサイト

<http://www.jotnw.or.jp/m>

### 臓器提供に関するお問合せ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル3階

携帯電話からは

☎0120-78-1069 ☎03-3502-2071

<http://www.jotnw.or.jp> にもさまざまな情報が掲載されています。



JOTNW (社)日本臓器移植ネットワーク

臓器を提供してもよいという人(ドナー)やその家族の意思を生かし、臓器を提供してもらいたいという人(レシピエント)に最善の方法で臓器が贈られるように橋渡しをする日本で唯一の組織です。

<http://www.jotnw.or.jp/m>

### ●医療機関の皆様へ

臓器提供意思表示カード・シールに臓器提供の意思を表示している患者さんのご家族からカード等の提示や「臓器提供についてコーディネーターの話を聞きたい」とのお申し出がありましたら、下記フリーダイヤルにてお知らせください。

また、心停止後の腎臓提供は、意思表示カード等がなくてもご家族のお申し出だけでできますので、ご家族にご希望があればお知らせください。

ドナー情報には、24時間対応しております

ドナー情報用フリーダイヤル ☎0120-22-0149



移植者から臓器提供者とご家族への  
サンクスレター

think transplant Vol.5

ドナーとご家族の皆様へ  
心より感謝しています。  
精一杯生き抜いています。



# 移植者から臓器提供者とそのご家族への感謝の手紙をご紹介します。

## <心臓移植を受けた20代女性のサンクスレター>

ご家族の深い悲しみの中、ドナーの方の生前の臓器提供の意思、そのことを認めてくださったご遺族の方々に、言葉では言いつくせないほどの感謝の念を抱いております。

私は、十代後半より数度の心臓手術を繰り返しており、その後も容態は芳しくなく、1年の投薬治療を経て、移植登録を決意しました。待機中は、2年9ヶ月間、体外式補助人工心臓という器械に助けられ、生きながらえている状況でした。この器械は、お腹の上のポンプ（血が入り、身体に戻る袋状の容器）から、5mの管でこのポンプを動かす洗濯機程の大きさの駆動装置とつながれておりまして、その5mが私の行動範囲でした。もちろん、お腹の上に器械がありましたから、寝返りをうったり、入浴したり、前屈みになったりはできません。廊下りハビリで歩く際は、常にこの駆動装置を押していただく業者さんや医師、技師さんなどの数名の付き添いが必要で、この装置のバッテリーのもつ30分が部屋の外に出られる限界でした。さらに、この廊下りハビリも週3回だったので、他の日々は部屋の中だけでの生活でした。

この度、この確かな命を引き継ぎましたことにより、私の生活は180度、いや、それ以上改善されたように思います。世界が、急に色鮮やかなものになりました。全てのことに、生まれた赤ん坊が感じるような新たな発見、喜びを感じています。

こうして正座をして、机を真正面にすえて文章を書くことができるようになることもずっと私の夢でした。心臓が悪かった時と違い、薬を飲まなくても尿がでること、食事が全て美味しく食べられること、寝返りがうてること...などなど可能になったことを挙げ始めたら、きりがなくらいの変化です。

今後したいことは、今まで家族や友人などに迷惑をかけた分、彼等との時間を大切に、ゆくゆくはまた、何らかの方法で、大学教育を受けたり、自動車免許をとったりしたいと思っております。

今後も拒絶反応や感染症問題など決して平坦な道のりではないと思いますが、ドナーの方のご遺族のお気持ち、今回の移植にかかわってくださった皆様の努力と気持ちが、今の私のこの鼓動となっていますので、これを勇気の源に精一杯生き抜いていくつもりです。

この度は、本当に本当にどうもありがとうございました。  
ドナーの方のご冥福を心から祈りつつ、失礼させていただきます。



腎臓移植を受けた50代女性のサンクスレター



腎臓移植を受けた女児のサンクスレター

## <腎臓移植を受けた男児のサンクスレター>

ぼくは、じんぞう移植手術を受けました。  
今は とても元気になっています。  
走っても しんどくなくなりました。  
ご飯も おいしくてたくさん食べます。  
おしっこも たくさん出ます。  
どうせきをしないでよくなって うれしいです。  
これからは、学校にも元気で行けます。  
いっぱい食べて いっぱい遊んで 大きくなります。  
ぼくにじんぞうをくれて ほんとにありがとうございます。



腎臓移植を受けた男児のサンクスレター



腎臓移植を受けた女児のサンクスレター

## <肝臓移植を受けた男児の母親のサンクスレター2通>

ドナー様、ご家族の皆様へ

初めてお手紙を書きます。  
ドナー様とご家族の強い意志と深い理解のもとで大切な肝臓をいただき、7ヶ月の息子の命を助けてもらい、本当にありがとうございました。

突然、劇症肝炎と診断されてから日がたつにつれ状態が悪くなり、小さなからだで一生懸命がんばっても肝臓の細胞は再生されないと診断されました。最終的には移植しかないと言われ、親からの移植はできないことで二重のショックでした。

しかし、どうにか息子の命を助けてあげたいと思い、大学病院の勧めで、家族で話し合い、移植希望登録をしました。脳死について知識のなかった私たちは、解らないなりに資料などを参考に勉強しました。脳死の判定のむずかしさ、支える家族の気持ちを考えると、たいへんな決断だと思い、胸が痛みます。

そのおかげでドナー様の肝臓をいただくことができ、大手術ができたこと、本当に幸福に思えます。そして、息子のからだのなかで、いただいた肝臓が着実に動いて働いていてくれます。

術後は、大きな問題もなく、どれもクリアできるほどのものでした。今、ベッドの上で動き回り、ミルクをいしそくに飲む姿を見られるのもドナー様のおかげだと思います。

息子が大きくなり、話が理解できるようになりましたら、大切な肝臓をいただいて手術したこと、命の大切さを話してあげたいと思います。

手術をして約2ヶ月後、退院することができ、ドナー様ご家族の皆様へ本人、家族一同お礼を申し上げます。「生命」という何物にもかえがたいものをいただき、本当にありがとうございました。

拝啓

ドナー様から大切な肝臓をいただいてから一年が経とうとしています。  
奇跡的にいただいたドナー様の肝臓が、当時生後7ヶ月の息子に移植していただくことができてから、一度も拒絶反応もおこさず、肝臓の機能も何の問題もなくこの一年間を過ごすことができました。

無事、満一歳の誕生日も迎えることができ、からだを自由に動かし、走り回り、言葉も増え、いたずらも盛んにする、こんな息子の日々成長している姿を見られるのも、ドナー様の肝臓が息子のからだの一部として働いてくれているからだと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。節目ふしめに去年の病中の息子の様子を思い出し、現在の元気な姿に感謝し、涙が出る思いです。

ドナー様のご家族の気持ちを考えますと、複雑な思いですが、ドナー様とご家族の理解をいただいたこと、本当にありがたく思い、これからも一生大切にしていきたいと思っております。家族一同感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。寒さが続きますが、くれぐれもお身体に気を付けてお過ごしください。